

# サンメッセの カーボンニュートラル戦略

2050

## TCFDへの対応

### ガバナンス

サンメッセは気候変動への対応を重要な経営課題と位置づけています。2021年には「サステナビリティ委員会」を創設し、事業戦略と結びついた社会課題の解決と、ネガティブインパクトの低減に向けた取り組みを開始しています。「ISO実行委員会」と省エネを中心に環境保全の役割を担う「省エネ部会」による環境推進体制で、年2回行われるマネジメントレビューを通じて、サステナビリティ全般の方針や目標、その進捗や目標達成状況について社長に報告され、改善や是正の検討を行っています。

### 戦略

2022年6月に「カーボンニュートラル宣言」を公表。気候変動に伴う移行リスク、物理リスク、機会要因などを分析し、脱炭素社会実現に向け、今後の事業ポートフォリオの転換とともに「移行計画」による戦略的な対応を行ってまいります。複数のシナリオに基づく分析については今年度より検討を始め、その影響や実施すべき施策を決定してまいります。

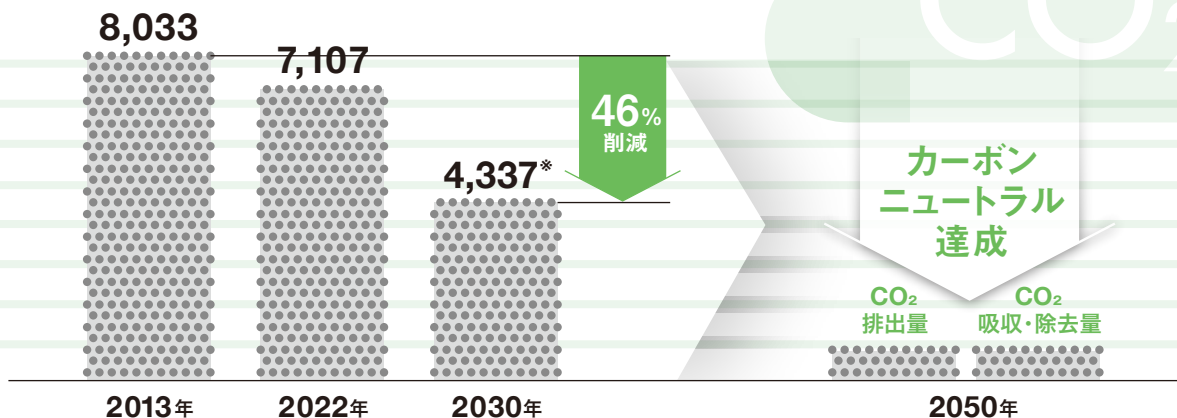
### リスク管理

頻発する自然災害に伴う生産拠点・工場への影響や、気候変動によって各種原材料の調達コストが増加するリスクについては物理的に影響を伴うリスクマネジメントの一環として対処してまいります。同時に、今後想定される規制の変化、炭素税の導入や消費者の環境配慮への意識の高まりなど、移行リスクに対しても準備をしております。同時に、FSC®森林認証紙や環境に配慮した印刷手法の採用等により、環境印刷の受注増が期待されるほか、環境コンサルティングに関する事業機会を拓げるビジネスチャンスがあります。

### 指標及び目標

指標及び目標 気候変動関連目標として、2050年カーボンニュートラルの実現、2030年に2013年度比46%のCO<sub>2</sub>排出量削減、そして単年での目標として、「事故・刷り直し報告書のCO<sub>2</sub>を対前年度目標比20%削減」や「環境配慮印刷対応製品、サービスの提供件数及び受注件数」を目標化し、その進捗を管理しております。

## Scope1+2による温室効果ガス排出量 (t-CO<sub>2</sub>)



※日本政府による、温室効果ガス排出量の削減目標：2030年までに46%削減(2013年比)に準ずる

※当社は、2022年度「カーボンニュートラル宣言2050」を公開しました。このScope1+2の排出量削減目標算出にあたっては2013年のCO<sub>2</sub>排出量を基準値としています。これまで、2013年度排出量算出の係数として実排出係数を利用していましたが、今後、調整後排出係数を利用することとし、基準値を10,278tから8,033tに修正いたします。これにともない、2030年度のCO<sub>2</sub>排出目標値は、5,550tから4,337tとなります。

## Webinar開催

### トライアル1tキャンペーンを実施

2022年11月、コロナ禍のためウェビナーでの開催となったサンメッセ情報技術展。当社の最新コミュニケーション事例をご紹介する毎年恒例のプライベートショーにおいて、この1st stageで『印刷とサステナビリティの「共創」』をテーマに、印刷が貢献するSDGsやカーボンニュートラルの具体例についてご提案しています。

また、2022年のプライベートショーをキックオフにして、お客さまのGHG排出量を削減するカーボン・オフセットやグリーン電力などを販促展開。カーボン・オフセットのトライアル1tキャンペーンと題して、1tあたりのキャンペーン価格を設定するほか取扱手数料を無料にするなど、お客さまにカーボン・オフセットを手軽にご利用いただけるようにしています。

当社では、地球環境の保全が叫ばれるようになった2000年代から環境印刷を独自に体系化しており、用紙やインキから印刷や製本まであらゆる印刷工程で環境負荷の低減に取り組んできました。今後も、2050年のカーボンニュートラルの実現に向けて、印刷にとどまらないコミュニケーションとサステナビリティの「共創」を、お客さまやサプライチェーンに働きかけていきます。



カーボン・オフセットをわかりやすくまとめた「トライアル1tキャンペーン」のリーフレット



サンメッセ情報技術展2022では、「印刷とサステナビリティの共創」をプレゼン

トライアル1tキャンペーンのリーフレットを作って、お客さまにカーボン・オフセットをご案内しています。カーボン・オフセットの仕組みがよくわかったと、お客さまにも大変喜んでいただいています。GHG排出量を削減するコミュニケーションへの関心も高まっており、カーボンニュートラルへ向けた販促キャンペーンの第2弾、第3弾も実施していきたいと思えます。

岡本 雄磨さん

東京営業部 部長



### お客さまのGHG排出量削減への貢献

FSC®森林認証紙や非木材紙といった、環境機能型の用紙をはじめ、グリーン電力の採用、印刷時に発生するCO<sub>2</sub>排出量のオフセット支援など、お客さまの印刷物における環境負荷を低減する支援活動を行っています。これにより自社だけで環境活動を推進するより、より広範囲で大規模な環境支援が実現できると考えています。

#### 2022年度の成果



カーボン・オフセット  
取り扱い量

50t

昨年比  
45%

### EcoVadis社のサステナビリティ評価で「シルバー」取得

2023年1月、当社はEcoVadis(エコバディス)社のサステナビリティ評価で、全体の上位25%に該当する「シルバー」を取得、中でも「環境」で優れた評価をいただきました。EcoVadis社は世界175カ国、200業種、10万社以上の企業や団体を評価するプラットフォームで、環境、労働と人権、倫理、持続可能な資材調達4分野で包括的にサステナビリティを評価しています。